

IoT/M2Mダイヤルアップルータ

Rooster AX220

LTEマルチキャリア対応通信モジュール搭載 小容量データ通信量向けダイヤルアップルータ

小型ながらRS-232CとLANインターフェイスを搭載し、モデム通信機能から後位端末でPPPが実装されていなくてもIPによる通信を可能とするプロトコル変換機能を実装しています。

また、基本ルータ機能も実装し、IoT/M2Mモバイルルータとしてもご利用が可能です。



製品特長

■LTEマルチキャリア対応

MVNO事業者も利用が可能なAM Telecom社製「AML570」を搭載し、LTE通信が可能です。
※低速通信プラン向けの製品のためデータ通信速度は最大1MBです。

■コンパクトサイズながら、モデムからルータ機能を実装

筐体は135(W)×68(D)×31(H)mmとコンパクトサイズながらRS-232CとLANインターフェイスを搭載し、モデム通信機能・プロトコル変換機能に加え基本ルータ機能を実装し、IoT/M2Mルータとしてのご利用も可能です。

■自律接続維持機能

(ASC:Autonomous Stable Connection)を搭載

電波状態による通信エラーなどを防ぐため、死活監視や、定時リセット設定など、自己復帰が可能な機能「ASC(Autonomous Stable Connection)」を搭載し、無人環境下でも安定運用を提供します。

■低コスト実現

ルータ機能を搭載しながら低コストでの提供が可能です。(当社RXシリーズ比)

■ATコマンドエミュレータ機能を搭載

NTTドコモ ユビキタスモジュールUM02-F/UM02-KO/UM03-KOのATコマンドエミュレータ機能を搭載。後位端末のコマンド仕様を変更することなく置き換えが可能です。
対応コマンドの詳細はお問い合わせください。

■広い温度範囲

動作温度範囲を-20~60℃とし、厳しいIoT/M2Mの環境下でも対応が可能です。

